

令和7年度 第3回学校運営協議会 議事概要

開催日：令和8年3月9日（月）

時間：15時～16時30分

会場：深沢高等学校会議室

司会：日比野総括教諭

記録：岡沢総括教諭

<出席委員>

里見正憲 委員

池田実 委員

嶋村勝美 委員

武田容子 委員

与安透 委員

（欠席3名）

<説明のための出席事務局職員>

村田克也 副校長

吉澤謙吾 教頭

中山久仁子 事務長

大谷英弘 総括教諭

岡沢哲晃 総括教諭（記録）

佐藤英幸 総括教諭

日比野規生 総括教諭（司会）

<公聴者>

公聴席を設けましたが、希望者はありませんでした。

<議事の概要>

1 出席者の挨拶

○校長より

前回の文化祭での会では温かいお言葉をいただき感謝します。3年生は進路が決まり、推薦が多かった。落ち着いた授業ができた。修学旅行は関西方面で、震災学習、USJ、淡路島という行程。最終日は雨でバスが遅れて大変だった。部活動はライフル射撃部が個人と団体で全国大会に出場できた。少ない人数でがんばっていた。令和9年度の藤沢清流高校との合併で、校名検討会を行った。6～7月頃に決定する予定。カリキュラムも藤沢清流中心で進めている。令和8年度は常勤教員が13名の予定で、少人数で部活動やグループ業務をやりくりするのが大変だが、できる範囲でやるべきことをやる方針である。

○武田会長より

38期の卒業式では、自身が2期生ということもあり、うれしさとさみしさを感じた。残り1年、最後までご指導よろしく申し上げます。

○里見委員より

たくさん進学していただき感謝します。深沢高校の校舎に向かう坂の並木の成長の様子をみると40年の歴史を感じる。最後の1年、がんばってください。

○池田委員より

小中学校の卒業式に比べて高校の卒業式はさっぱりしていると感じた。校歌の内容が物語になっていてとてもよかった。なくなるのがとてもさみしいです。

○嶋村委員より

深沢高校とは長く交流を続けてきた。少子化で園児も減少しており、日本の将来を心配している。これからの教育が大切になってくる。

2 協議：令和7年度の学校評価実施結果について 事務局から説明

○教育課程・学習指導について 学習支援G（岡沢）より

資質・能力の育成を目指した授業の工夫をテーマに、授業互見週間を設けて協議を行った。今年度はプロジェクトチームは立ち上げていないが、中堅教諭等資質向上研修の受講者2名を中心に、授業見学を行った、国語と英語の授業に共通して、音読の時間があつたため、音読の教育的効果について協議を行った。また、ICTの活用についてはロイロノートで意見の収集など行っているが、ICTの便利さによる弊害の意見が多く出たため、次年度の課題としたい。授業評価アンケートでは、概ねどの教科も満足度が高い結果となっている。

○生徒指導・支援について 生徒支援G（日比野）より

生徒が自分で考えて行動することをモットーに、行事に取り組んでいる。体育祭では4団に分かれ、出来栄もよく盛り上がった。文化祭は台風で1日中止となり、売り上げに影響が出た。合唱祭は2年生だけのため、体育館で実施する。ライフル射撃部が男女で全国大会に出場し、タウンニュースに掲載された。卒業生の作品を引き取りにくるよう、タウンニュースで呼びかけをした。修学旅行の行先についてのテレビ取材を受けた。

○進路指導・支援について キャリア支援G（大谷）より

38期生の3月2日時点での進路について、行ける所ではなく、行きたい所を目指すように指導してきたが、120名ぐらいが年内受験（指定校推薦・AO）となった。面接指導では、教員1名あたりの生徒の数が多くなり、集団でやるなど工夫して行った。今年度は一般受験生が苦戦している。

○地域との協働について 生徒指導G（日比野）より

ボランティア活動では、片岡幼稚園との昼食会や、園庭で遊ぶ・紙芝居などを行った。新川清掃は雷注意報のため中止となった。近所からの苦情で、対応した件があつた。また、悪ふざけの延長で生徒指導となった案件があつた。いいことと悪いことの境界線をはっきりとした指導をしていく。

○学校管理・学校運営について 学校管理運営G（佐藤）より

完校に向けた物品の整理を行っている。個人情報の取り扱いについては、夏に机上研修を企画した。電子データの整理については次年度の課題。校内美化では概ねきれいに使用しているが、一部の生徒がかくれてゴミを捨てるなどしており、指導に苦労している。空き教室を多目的室や更衣室にして活用している。次年度はさらに空き教室が増えるため、物品管理に使用したり、自習に特化した部屋を設定したりする予定。使用しない教室は施錠する。

○再編・統合の進捗について 与安校長より

再編統合について、11月7日に40周年記念式典を簡潔に行ったが、完校式は卒業式の後に行う予定。校名検討については、両校の意思を尊重し、決定される。物品については、藤沢清

流高校、他の県立高校、県立施設の順番に譲渡し、引取り先の決まらない物品については廃棄する。

○学校施設の開放事業について 中山事務長より

施設開放（テニスコート）で5団体が登録。1月31日時点で、10回・53名の利用があった。次年度は開放日が増え見込みであるため、利用者ももっと増えると思われる。

○職員の業務量管理・健康確保措置について 吉澤教頭より

職員の時間外勤務について、多いのは部活動を担当している職員の土日の出勤によるもの。年休も取得できていて、メリハリのある勤務ができています。

○学校運営協議会設置要綱の改定について 村田副校長より

設置要綱の第5条1-(6)が追加される。健康管理に関することで、本日の教頭の報告の内容と重なる。第5条1の(1)～(5)の内容は学校要覧に記載されている。ただし、予算について資料はないが、生徒総会、PTA総会、学校徴収金運営協議会に報告しているのでご信頼いただきたい。また、私費会計について、過徴収事故を起こしてしまった。お詫び申し上げます。

3 協議：令和7年度の学校評価実施結果について 委員からの質疑及び意見聴取

○里見委員より

一般職員13名は少ないが、私が経験したときは言いたいことを抑えて、チームワークが良かった。生徒も先生の顔が全員わかるようになるので、プラスの面を活用してほしい。

- ・生徒のメンタル面のケアについて聞きたい。

→年2回、アンケートを実施しており、スクリーニング会議を行っている。課題があると判定された生徒はプッシュ型面談を行い、何人かの生徒をSCとつなげることができた。

- ・新採用など、若手の先生の指導について聞きたい。

→再編統合が決まってから、新採用は配置されていない。一番若い先生で、今年が3年目。

○池田委員より

- ・施設の管理で、職員数減で目が行き届かない所に気を付けてもらいたい。

→普通教室には錠がないので、空き教室に鍵を取り付ける準備をしている。生徒の指導も徹底する。

○嶋村委員より

学級数が減るが、費用面・施設面の管理が大変になるので、職員への負担が心配。

- ・授業評価で満足度が低い科目もあるが、なにか原因はあるのか

→数学Bなど、内容が非常に難しい科目はどうしても満足度が低くなりやすい。

非常勤講師が単独で担当している科目は、教科内で意見のすりあわせが難しく、生徒が質問しづらいなど課題があって、満足度が低くなると思われる。次年度の課題とした。

- ・先輩・後輩の関係がないので、その自覚や責任感の育成などをどうするか

→金曜日に新教室への引っ越しをしたとき、そのことについて生徒に話をした。行事では後輩がいない分、横のつながりを大切にして、生徒間の連携を密にすることで、責任感を養いたい。

○里見様より

- ・面接指導の集団面接について、フィードバックや生徒間で話し合える機会はあるのか。
→3人でやったときは、一人ずつフィードバックを行い、後の生徒ほどハードルが上がるが、修正しながら順番にできていた。次年度は13名で100名近い生徒を担当するので、集団面接は必ず必要になると思われる。事前説明会で、そのことをしっかりと説明したい。

○武田様より

3年間、深沢高校に関わってよかった。次年度の会長に引継ぎをしっかりとしたい。

○校長より

委員の皆様には、次年度も引き続きよろしく申し上げます。本日はありがとうございました。